

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0786
施設名	西国分寺保育園
施設所在地	国分寺市西恋ヶ窪 2-18-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

雨水・泥水を濾過してみる

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 園庭の水はけが悪く、水たまりができることが多い。水たまりを遊びに展開できないかと考えたため。

2. 活動スケジュール

2026年3月16日 10:00~10:30

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

木の玩具、ペットボトル、コーヒーフィルター、ペーパータオル、小石、砂利、スコップ、泥水

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・泥水を見つける。
- ・泥水を集める。
- ・2つの濾過装置を作る。
(コーヒーフィルターの濾過装置、小石や砂利、ペーパーを用いたろ過装置)
- ・濾過したらどうなるのか予想する。
- ・泥水が濾過されて、水がきれいになる様子を不思議に感じる。
- ・より濾過するにはどうしたら良いか、次の作戦を考える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・濾過した時の違いに驚いていた。
- ・驚いている姿に子どもがどんと寄ってきて、予想や感想が増えていった。
- ・なぜ濾過されたのか予想している子もいた。
- ・保育者がもっときれいな水になるにはどうしたら良いかを尋ねると、「コーヒーフィルターを増やしてみるのはどうだろう」という提案があった。
- ・石と砂利、ペーパーは何故うまくいかなかったのか考えている子どももいた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・濾過装置の違いによって、濾過のされ方が違うことに気づいていた。
- ・濾過しても色が変わらないと予想していたが、泥水が綺麗になっていて驚いていた為、実体験を通して、新たな発見ができていた。
- ・結果を見て、フィルターが泥を通さない為、水がきれいになったという仮説を立てることができていた。
- ・コーヒーフィルターを厚くすることで、もっときれいに濾過されるのではないかと考えることができていた。試してみても更に工夫してみようと、実験に対する関心を高めていた。→泥水がなくなってしまう、実験が途中で終わってしまったが、次雨降った時の楽しみとなっていた。
- ・次回は、災害のことや水不足のこと、飲み水がない国があることなどを知らせ、水の大切さを伝えていきたい。

